

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

【特徴(強み)】

5圏域の委託事業所にて、ピアサポーターを養成し、長期入院者の退院促進に向けた病院訪問等のピアサポート活動を行っている。ピアサポーターが関係機関とともに関わった個別支援が退院につながった事例もあり、より関係者にピアサポーターの効果が期待されている。地域包括ケアシステム構築に向けた取組の活性化、事業内容の充実につながることを期待できる。

課題	課題に解決に向けた取組状況		取組の成果
圏域(保健所)ごとの取組状況のバラつき	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、「構築推進事業」を活用。協議の場を保健所ごとに設置しているが、取組が進んでいる地域の好事例の共有、横展開を図りながら地域の実情に沿った事業内容に取組んでいる。 地域移行関係者が地域包括ケアシステム構築に関する理解を深める重要性から、保健所ごとに研修の趣旨に沿った対象者を選び、研修の実施を必須としている。 		<ul style="list-style-type: none"> 保健所ごとに地域課題の抽出、共有に工夫を凝らし、課題を踏まえた事業内容の取組が進み、県全体の底上げにつながっている。(アドバイザーの配置、リムラッド活用、管内長期入院者実態調査等) 全保健所11か所(県域保健所8か所、市保健所3か所)で研修会の開催が進んでいる。
地域移行の促進・個別給付の活用に向けた支援	事業メニュー「入院中の精神障害者の地域移行に係る事業」において、長期入院者の中から対象者を選定し、退院に向けた具体的個別支援(個別給付の活用を含む)等に取り組んでいる。		<ul style="list-style-type: none"> 保健所ごとの協議の場8か所で実施した。(1か所は研修における地域課題の検討を目的とした事例の共有) 管内長期入院者実態調査や精神科病院によるリストに基づいた個別支援の実施ができた。
課題解決の達成度を測る指標	現状値 (現時点)	目標値 (令和元年度末)	達成状況の見込み(評価)
①保健所ごとに地域移行関係者向け研修を実施	11か所	11か所	全保健所11か所で年1回以上の実施が見込まれる。
②個別給付(地域移行・地域定着支援)の活用、長期入院者数の削減	地域移行給付実績21人(H30県域)※H29県域12人	前年度増	協議の場において、長期入院者の具体的個別支援(個別給付の活用を含む)、事例検討が8か所で進んでいることより、達成が見込まれる。